

地域人材の育成と地元就業を支援する



かごしまCOC+通信

KAGOSHIMA COC+ NEWSLETTER

第3号
平成29年9月

かごしま学卒者
地元定着促進協議会

「オールかごしま」による地域人材育成の取り組み

COC+公開講座 2017「食と観光で鹿児島島の魅力を探る」を開催

9月8日(金)、COC+参画校8大学等が協働して、地域人材育成を目的とした公開講座が、鹿児島大学において9:30から16:00まで開講され、COC+参画校に在籍する学生46名が受講した。また、講師をはじめCOC+参画校の関係者22名が参加し、講義やワークショップについて熱心に参観した。

○開催趣旨

この講座は、地域人材を目指す学生が夏休み期間を有効に使い、COC+参画校における地域活性化の取組を学ぶとともに、グループワークを中心とするアクティブラーニングにおける基本的手法であるブレインストーミングとKJ法のスキルアップを図ることを目的に実施した。

○実施概要

鹿児島大学教育担当理事の清原貞夫副学長の挨拶と事務局からの全体の説明の後、講座が開始された。

講座全体は「食と健康」分科会と「観光とまちづくり」分科会によって構成され、午前は各大学等による地域活性化の取組事例を聴講し、午後は分科会ごとにグループワークによるワークショップが行われ、最後に全体発表会と講師による講評によって、参加者全員で成果の共有をおこなった。

<午前の部：各大学による講義>

表1「食と健康」分科会の講義

- 鹿児島国際大学 菊地裕幸 教授
「食」を通しての阿久根市地域活性化事業
- 志学館大学 野上真 准教授
美味しい鹿児島再発見プロジェクト
- 県立短期大学 中熊美和 助教
鹿児島のだしの世界
- 鹿児島女子短期大学 住澤知之 教授
鹿児島の食材の有効活用について

表2「観光とまちづくり」分科会の講義

- 鹿児島大学 井上佳朗 特任教授
鹿児島市の第3次観光未来戦略
- 鹿屋体育大学 坂口俊哉 講師
鹿児島にグランピングを展開するには
- 第一工業大学 羽野暁 専任講師
若者の“気づき”から始まる地域活性化
- 鹿児島工業高等専門学校 内田一平准教授
観光地における移動の問題点など

学生は、鹿児島島の食が有する多様性と可能性、観光による交流人口の拡大策や地域意識の醸成手法などを理解し、鹿児島島の地域資源の価値を再認識する良い機会となった。



写真 午前の講義風景(上:「食と健康」分科会、下:「観光とまちづくり」分科会)

<午後の部：ワークショップ>

「食と健康」分科会は「鹿児島の海産物のブランドを高める」をテーマに、「観光とまちづくり」分科会は「鹿児島の自然を活かした観光プランを考える」をテーマに行われた。学生は4名から6名の小グループに分かれ、ファシリテーターを中心にグループワークを実施した。ファシリテーターを務めた学生は、事前にワークショップのテーマ及び目標と進行方法について理解しリハーサルを行い、本番の円滑な実施を実現させた。

大学の枠を超えたワークショップは、学生の地域認識力やグループワークによる課題解決力の向上に

資することができたものと確信している。

<全体発表会>

ワークショップ終了後は、全員が一堂に会し、各分科会でのワークショップの成果をグループ毎に発表し、その後、「食と健康」分科会のワークショップ結果については鹿児島女子短期大学の住澤知之先生から、「観光とまちづくり」分科会のワークショップ結果については鹿屋体育大学の坂口俊哉先生から、それぞれ講評を受け、成果の共有を図った。

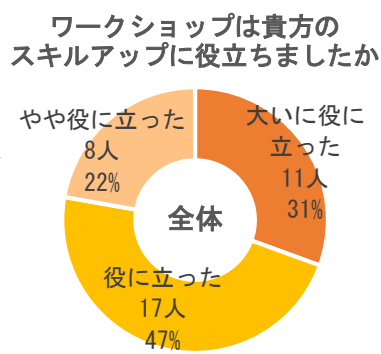
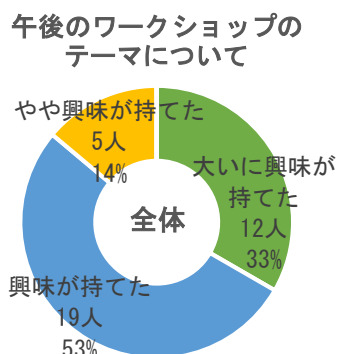
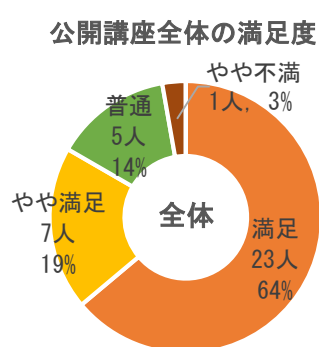
最後に、鹿児島国際大学産学官地域連携センター長の久保幸夫先生より閉会の挨拶があり無事終了した。



写真 ワークショップの様子（左：「食と健康」分科会、右：「観光とまちづくり」分科会）

○参加学生のアンケート結果

今後の改善に結びつけるために、参加者に事後アンケートを実施した。結果の一部を以下に紹介する。



参加学生の講座全体に対する評価は、「満足」と「やや満足」を合わせ8割を超えており、概ね好評であったことがわかる。ワークショップで取り上げた「食と観光」に関するテーマについても、86%が「大いに興味を持てた」「興味を持てた」と回答し、スキルアップについても78%が「大いに役に立った」「役

に立った」と回答しており、学生たちがワークショップに積極的に取り組み、一定の成果を得たことがうかがえる。

これらの評価結果は、次年度以降もCOC+参画校が大学の枠を超えて協働し、地域人材の育成に取り組んでいく意義を実感させるものであった。